

罪の呪い

ゼカリヤ書5章

これは全地のおもてに出て行く、のろいの言葉です。すべて盗む者はこれに照して除き去られ、すべて偽り誓う者は、これに照して除き去られるのです。(3)

ゼカリヤは二つの幻を見せられます。空を飛ぶ巻物の幻とエパ枡の中にいる女の幻です。これらの幻はいずれも、神が民の罪に対してどのような審きを行われるかを表しています。最初の空を飛ぶ巻物には、盗みを行う者や偽って誓う者など、罪人たちを罰する呪いの言葉が記されていました。「わたしはこれを出て行かせる」(4)と言われたように、神がこれらの罪人たちを徹底的に裁かれるというのです。罪人たちは「除き去られ」、その者たちの家の木や石までも「滅ぼす」と宣言されます。罪を除き去ることなしに、神の民イスラエルの再建はありえません。罪を徹底的に除き去ろうとする主の堅い決意を前にしたとき、自分は大丈夫だと誰が言えるでしょうか。しかし、わたしたちには救い主キリストが与えられています。神に対する罪のゆえに、全地のおもてから除き去られても仕方のないわたしたちのために、主イエスは十字架にかかって罪の呪いを受けてくださいました。それによつてわたしたちは捨てられることなく生かされているのです。「キリストは、わたしたちのためにのろいとなつて、わたしたちを律法ののろいからあがない出して下さった」(ガラテヤ三13)。

わたしたちが神によつて赦され、今このように生かされているのは、主イエス・キリストのあがないのゆえであることを今日も深く心に留めたいものです。